

自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目（例えば、下記項目のⅡやⅢ等）から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
V. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

○記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点] (アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	ザ テラス 西田橋
(ユニット名)	1号館
所在地 (県・市町村名)	鹿児島市西田1丁目11-1
記入者名 (管理者)	下松 真理子
記入日	平成 19年 9月 15 日

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで いきたい 項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	・「ゆっくり やさしく おだやかに」 (共に 楽しく 健やかに) の理念あり	○ ・地域にさらにアピールするための理念をつくりあげていきたい
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	・色紙に書きロビー中央に掲示(常時目に入る)忙しい時、慌てている時こそ理念の持つ意味を噛み締めながら実践に取り組んでいる	○ ・引き続き取り組んでいく
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	・開設時、地区の町内会に参加し、ご理解とご協力をお願いした ・母体の広報委員会の一員として広報に取り組んでいる ・ご家族へホーム便りの中でお知らせしたり、ご面会中に話題にしている ・「運営推進会議」でも説明している	○ ・母体の掲示板に掲示しているがさらに多方面への配布を検討している(顔写真等あり、プライバシーの保護への配慮の為)
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	・努めている。散歩、買い物時等、機会がある毎に挨拶と同時に声掛けはしている。頻度は少ないが立ち寄って頂いている ・看板、鉢物等でソフト感を出す様心掛けている	○ ・建物が1軒家ではなく、庭先から通りすがりの方々との立ち話等は出来ない。 ・エレベーターの入口に「関係者以外立ち入り禁止」の張り紙がある(事業所はビルの4階5階6階)ため立ち寄りづらいことも考えられる。飾り付け等さらに工夫していく
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	・慈恵会の運動会、6月灯等を通じ交流している ・運営推進会議に地域の方々に参加していただき意見交換をしている	○ ・各機関と情報交換をし、数多くの「催し」「会」をキャッチして交流の場を広げていく

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで いきたい 項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・介護教室等を受ける準備はあるが、まだ要請は無い ・事業所前の道路掃除はしている 	<p>○</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんなことが喜ばれるのか、必要なか等さらに情報収集し（運営推進会議も利用）取り組んでいく
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全員で自己評価を行い、外部評価の結果も開示し反省会をしている ・毎日の生活又は業務に携わっている中で、見逃し聞き逃ししてしまう日常を、この「評価」が、立ち止まり考え直す機会となり、又第三者の目での気づきを教えていただいていると実感している ・手すりの充実等改善している 	<p>○</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価を十分に反芻し、改善に取り組んでいく
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・報告や話し合いは行ったが、サービスの向上のための具体案は検討中である 	<p>○</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1回1回の会議は元より回を重ねる毎に、より具体化できるよう有意義な会の運営に取り組む
9	<p>○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市の訪問調査員の来訪がある（年2回）。入居者様のご希望等新たに知る機会となり、サービス向上に役立っている 	<p>○</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き取り組んでいく
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・パンフレット等での勉強会をしている ・成年後見制度の活用を検討中の入居者様あり 	<p>○</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員全員が熟知するよう資料の掲示、勉強会等に取り組んでいく
11	<p>○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・集団指導や事業所内での勉強会を行っている ・十分に防止している 	<p>○</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き取り組んでいく

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで いきたい 項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	・入居前、入居時は元より、いつでも尋ねて頂き、ご理解頂けるような体制、雰囲気作りをしている	○ ・継続していく
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	・ご意見箱やパンフレット等は掲示してあるが入居者様のご利用はご無理の方が多いため、日常の会話の中での聞き取りや見守りで、よりご満足頂ける様支援している	○ ・言葉にならないご不満等を察知できる職員、体制作りをし皆様のQOLを高めていく
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	・ご面会時、ホーム便りで報告している ・所用での電話時に付加している ・金銭に関しては特に必要に応じ、直ちに開示出来るよう管理している ・体調不良時には特に密に報告している	○ ・「便り」の充実を図り、又いろいろな機会を活かし報告を行っていく
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	・ご意見箱を設置し、毎日チェックしている。ご意見があった場合はさらに詳しい情報収集と改善への取り組みを検討し対処する様になっている ・ご面会時、ホーム便りを通じてもご意見を伺うようにしている	○ ・明言化されないご意見・ご不満等を、面会時・行事の参加時にもっと汲み取れるよう職員に意識付けをする ・さらに、何でも言っただけのような雰囲気を作る
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	・ホーム会議を行い検討、反映を図っている ・職員個人専用のファイルがあり、メモ等での意見交換をしている ・特に業務前後には十分に機会を設けている	○ ・勤務体制の都合上全職員を集めての意見交換は難しいが、参加できない職員からは事前に聞き取りを行っている。引き続き、有意義な会の運営に取り組んでいく
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	・状況に応じ（緊急時・行事時等）、途中の交代や勤務の見直しをしている。	○ ・職員の資質の向上にも取り組んでいく

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで いきたい 項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	・努力をし、変わる場合はいきなりではなく徐々に移行できるよう一定期間において、勤務を調整している	○	・引き続き取り組んでいく
5. 人材の育成と支援				
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	・法人内の新人研修、勉強会、各機関からの研修等参加している 不参加の職員にも資料提供や掲示をしている ・事業所内においても行い、各種専門書もいつでも閲覧出来る様にしている ・私的に研修参加の場合の勤務体制も考慮し、参加出来る様に取り組んでいく	○	・引き続き取り組んでいく
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	・他事業所の開設時の職員研修の受け入れあり ・管理者同士の情報交換は行い、サービスの向上に努めている	○	・職員間の交流は公的にはない ・グループホーム連絡協議会においても検討事項となっているので実現に向けて協力し実現に取り組んでいく
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	・話しやすい雰囲気作りを心掛けている ・会議後や空き時間等に声掛けをしている ・職員間の連絡帳を活用している	○	・個々人の資質に合った配慮を行いながら全職員のストレスが軽減できるようハード面ソフト面から支援していく
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	・現状は把握している。得意分野が発揮できるような行事、業務の担当振り分けをしている	○	・未知数の部分や変化を見逃さないよう支援していく
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで いきたい 項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	・初対面時にくつろいで頂ける雰囲気作りを心掛け、何でも話して下さるようにし、お気持ちに添えるよう努力している。(担当ケアマネージャーからの情報提供、主治医との情報交換も含めて)	○ ・引き続き取り組んでいく
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	・ご家族のご都合に合わせ、いつでもいつまでもの気持ちで聴かせていただいている。又、お気持ちに添うよう、努力している ・重要事項説明書等も利用し、不安を出来るだけ無くして頂ける様努力している	○ ・管理者との相談時だけではなく、誰にでも気軽に質問、疑問をぶつけて頂けるような雰囲気作り、職員の資質の向上を図っていく
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	・努めている。主治医をはじめ各関係機関との情報交換を密にし、最善の生活スタイルを支援できるよう努めている	○ ・引き続き取り組んでいく
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	・このことはとても大事だと思っているので、まずは来所され、雰囲気を感じて頂ける様提案している(お茶の時間に合わせて来て頂いたりしている)	○ ・引き続き取り組んでいく
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	・慣わし、諺、言葉等学ぶことは多い。一緒にお茶を飲みながら、食器を洗いながら、買い物ついでの散歩をしながらいろいろ教えていただいている。又、道路で車をよける際、逆にかばって頂いた時にはとても感動しました	○ ・入居者様と職員ですが、一方、運命共同体の同居人として、共に生活を楽しめる努力を続けます
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	・いろいろな機会を通じて「今」を知って頂く様に努めている。「こんなことを仰って楽しいでした」等のエピソードや、「最近あまり召し上がらなくて・・・」等の現状を伝え、ご家族の喜びやお知恵を頂いている	○ ・ご面会やご連絡が少ないご家族との交流が一方通行にならないよう、又ご負担にならないよう十分お気持ちを伺い、支援、交流方法を検討し、共に支援して頂けるよう努めていく

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで いきたい 項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に 努め、より良い関係が築いていけるように 支援している	・生活暦も踏まえた上で、今の入居者様とご 家族両方の状況やお気持ちを汲み取りなが ら、外出、外泊等の声掛けや支援をしている	○ ・お互いが満足し、悔いのない様に 過ごして頂ける様に、さらに検討、 努力していく
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの 人や場所との関係が途切れないよう、支援 に努めている	・友人知人の方々にもご来訪をお願いして いるが少なく、まったくない入居者様もある ・周辺地域からの入居者様は道路での立ち話 を楽しまれることもある	○ ・遠方からのご入居等、入居者様そ れぞれの御事情に合わせ、それぞ れの御満足に繋げる支援をする
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとり が孤立せずに利用者同士が関わり合い、支 え合えるように努めている	・席の位置、レクリエーション時の組み 合わせ等考慮し、より楽しんで頂ける 様に努め、又、トラブル防止や解決 にも迅速な対応を心がけている	○ ・日により時により変化する状況 をいち早く察知し、良い関係が保 てるようさらに努めていく
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、 継続的な関わりを必要とする利用者や 家族には、関係を断ち切らないつきあ いを大切にしている	・入院中の訪問や担当者との情報交 換をしている	○ ・引き続き取り組んでいく
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、 意向の把握に努めている。困難な場 合は、本人本位に検討している	・直接、あるいは間接的に、ご希望 やお気持ちに気づくよう努めてい る ・寄り添い、同じ時間を共有し、表 情等からご意向を推測しご満足頂 ける支援方法を検討している	○ ・主張されない方々の思いをも っと聴き取れるようさらに努めて いく
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮ら し方、生活環境、これまでのサービ ス利用の経過等の把握に努めてい る	・入居前、入居時にご家族始め各機 関から情報収集している ・日常の会話からも情報を得てい る	○ ・引き続き取り組んでいく

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで いきたい 項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	・日中夜間ともに心身の状態、言動等を個人記録に記入し申し送りをしている。又、特記事項は連絡帳を活用し全職員把握するよう努めている	○	・さらにきめ細かく把握するよう努めていく

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで いきたい 項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス担当者会議を開催し、作成している ・ご家族とは電話や事前の面会時にご希望等を伺い、作成後も確認をしている ・主治医とのケアプラン連絡体制あり ・会議に不参加の職員からは事前に聞き取りをしている 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族参加の会議が出来ていない。ご参加下さるよう日時場所の検討をし、実施に繋げるよう努めていく
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	<ul style="list-style-type: none"> ・入居時、入居後約1ヶ月、後は約6ヶ月毎の見直しをし、計画作成後2ヶ月毎にモニタリングしている ・入退院後や特変時には随時、新たな計画を作成している 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き取り組んでいく
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	<ul style="list-style-type: none"> ・個人記録、便チェック表等あり全職員がいつでも閲覧出来る。見直しに活かしている 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の資質（経験不足等）の向上にも力を入れ、チェックや記録の方法等も工夫しさらに詳細な情報を得、それを共有できるよう努めていく
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・併設病院、併設介護老人保健施設への転居やリハビリ室の活用等あり ・運動会、六月灯等各行事に参加し交流の場を広げ、楽しんで頂いている 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・さらに満足して頂ける様、各関係機関との連絡を密にし、柔軟に支援していく
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員は運営推進会議の会員として協力頂いている。警察との連携あり。 ・消防署と連携での避難訓練あり ・中学校から体験学習の要請あり、受け入れている（入居者様方にはとても喜んで頂いている） ・ボランティアの慰問あり（歌や踊り） 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアの受け入れをもっと多くし、適宜に十分な支援が出来るような体制作りに取り組んでいく

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで いきたい 項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	・他事業所への転居時に支援あり	○	・いろいろなニーズに応えられるよう各関係機関との情報交換と、各種の情報収集に努めていく
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	・情報交換やアドバイスを頂いている。運営推進会議にも参加頂いている	○	・引き続き取り組んでいく
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	・ご家族のご意向に添った主治医との関係作りや歯科、皮膚科、眼科等への通院も支援している	○	・引き続き支援していく
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	・施設長が神経内科医であり、常時、支援体制あり	○	・引き続き支援していく
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	・医療連携体制あり。週に1回の定期検診(バイタルチェック)あり、特変時の来所や相談はもちろん、常時連絡相談できる体制となっている	○	・既往症の進行や新たな疾病の発症を出来るだけ未然に防げるよう連携を強化し生活を支援していく
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	・入院中の訪問や担当看護師等と情報交換をして、いつでもご家族からの相談に応じられる様に努めている ・ご家族の意向、主治医の判断等相互の情報交換や連絡が、的確に行なわれるように連携している	○	・引き続き支援していく

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで いきたい 項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p> <p>・入居時の重要事項説明時に話し合い、時に応じて話し合いを繰り返している。</p>	○	<p>・本人からの聞き取りが少ない、ご家族の思いとあわせ、さりげなく伺うよう努めていく</p> <p>・情報の開示方法を工夫し新旧問わず全職員が共有できるようにする。職員の資質の向上にも努めていく</p>
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p> <p>・各関係機関主催の研修や事業所内での勉強会、サービス担当者会議を通して取り組んでいる</p> <p>・主治医を始め医療連携チーム、併設病院等との協力体制での支援に取り組んでいる</p>	○	<p>・引き続き取り組んでいく</p>
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p> <p>・事前の情報交換に加え、情報提供書や事後の情報交換、必要に応じての情報提供をしている</p>	○	<p>・引き続き取り組んでいく</p>
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	<p>○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p> <p>・汚染衣類の交換、あるいは言い間違いなど他者に気づかれないようさりげなくフォローしている</p> <p>・記録簿の保管時の管理（特にロビー等人目につく所で無造作に広げたり記録しない等）を徹底している</p>	○	<p>・きめ細かい配慮で、かといって慇懃無礼にならないように、誇りやプライバシーの保護に努めていく</p>
51	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p> <p>・更衣時の選択やバイキング風のお茶タイム、あるいは「・・・します」ではなく「・・・しませんか？」等ご希望を伺っている</p> <p>・気持ちの表出の少ない入居者様も、少しでも多くの自己決定をしてくださるようアイコンタクト等の非言語コミュニケーションを駆使し満足に向けての支援をしている</p>	○	<p>・引き続き支援していく</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで いきたい 項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	・食事とお茶の時間、入浴日が決り事で（時間はおおよそ）他は「晴耕雨読」。外出希望も即同行できる体制を作り支援している（入浴は毎日が原則だが） ・自己主張できる入居者が優先になりがちで他入居者様への支援が手薄になる場合もある為、不公平感がない様職員間で連携を取りあって支援している	○ ・時間や職員数に限度があり、100%の満足は得られていない。時間配分や体制のあり方を再検討し善処していく
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	・ご家族の協力も得て衣類の補充をし、TPOに合わせて選んで頂いたり、又支援している。 ・理容、美容は入居当時にご希望をお聴きし、特に無ければ近隣の美容院に同行し、ご希望がある場合はその店に同行している（遠方の場合にご家族にご依頼する場合もある）	○ ・引き続き支援していく
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	・献立のご希望を聴いたり、義歯や、症状に合わせて食材を刻んだり器を選んだりしている ・出来る方が出来るだけ（無理のない範囲で）楽しんで準備、片づけが出来よう声かけし、一緒に行っている	○ ・参加者が多く取り合いになる時がある。作業の手順や量の工夫をし皆様に楽しんで頂ける様取り組んでいく
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	・支援している。現在、喫煙する入居様は皆無だが、そのご希望があった場合の喫煙方法（場所時間の指定、あるいは全面的に自己管理なのか等）は検討中	○ ・喫煙に関しては火災に繋がる危険性があるため、支援方法は十分に検討し禍根を残さないよう支援していく
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	・リハビリパンツから布パンツ+尿パット、そして日中は布パンツのみとなられた入居者様あり。日中夜間とも個々人に応じて排泄の支援をしている（夜間は良眠を優先するため尿パット使用やリハビリパンツに交換する場合あり）	○ ・さらに創意工夫し、快適な排泄を支援していく

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで いきたい 項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な曜日はあるが無理強いせず、また都合によりいつでも入浴可能 ・1対1での入浴介助なので、普段聞けない話をしてくださったり、歌等も出て職員共々楽しく支援できている ・入浴剤の使用や季節のゆず湯、菖蒲湯等も実施している 	○ <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き支援していく ・夜間の入浴の支援方法（試行はしたが）も検討する
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・照明、室温等環境整備に留意し支援している ・夜間はもちろん日中の休息も入居者様主体としている。ただし、昼夜逆転、廃用性の機能低下の危険性がある時は適度に声を掛け日中の活性化を図っている ・「ここはいつでも寝られるから良い」との声あり 	○ <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き支援していく
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・生活歴を踏まえながら、家事や手仕事等種々声掛けし「出来る事を出来るだけ」楽しんで頂いている ・不得手な様子はいち早く察知し、プライドを傷つけたりストレスにならないよう配慮している 	○ <ul style="list-style-type: none"> ・発語の少ない方、要求の少ない方の思いに気づき、皆様が満足していただけるよう支援していく
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・理解し支援している。買い物を楽しんで頂いている（必ず職員が同行する） ・就寝前に数えておられる入居者様もいらした ・お金の管理が可能な入居者様は少なく事業所の管理が多いが、行事時（六月灯のバザー等）等も利用し、楽しみを増やす様支援している 	○ <ul style="list-style-type: none"> ・引き続きいろいろな場面を活用し支援していく
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・自分から外出される方、遠慮がちに言われる方、職員から声掛けする方いろいろだが、ほぼすべての方々のご希望に添うよう努力し、支援している 	○ <ul style="list-style-type: none"> ・歩行機能、職員数等の為、外出頻度が全員同じではないので、不公平感のない様配慮しているが、完全ではない。検討しながら満足して頂けるように支援していく

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで いきたい 項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	・お茶の時間等にお聞きし、ドライブ等計画し支援している ・ご家族にも声掛けしている	○ ・ご家族との情報交換も密にし、個別の古里巡りや墓参等も検討し支援していく。
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	・自由に出来るよう支援しているが、電話も手紙も受けるだけの方が多い ・年賀状、書中御見舞いのやり取りはあり(少数のみだが)	○ ・リハビリも兼ねて手紙を書いて頂く機会を増やしていく
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	・御便り、電話時等機会ある毎に声掛けをし、御来訪時には茶の湯(お好みをお聞きし)の接待以外は必要以上に居室の出入りをせず、ロビーでの歓談中にもご本人達や周囲の皆様へのフォローを心掛けている	○ ・引き続き支援していく
(4) 安心と安全を支える支援			
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	・理解し支援している。身体拘束はない ・ベッド柵は使用しているが、起きあがり時の補助具として使用している	○ ・引き続き取り組んでいく
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	・理解し取り組んでいる。ただし、外部からの不審者の侵入を防ぐ為もあり、開放時間は短い ・内側から簡単に開けて外出出来る。また、玄関付近におられる時は「外出されますか？」と声を掛け開錠している ・居室に鍵はない	○ ・夜間帯においては、職員が一人でもあり同行できない為、二重に施錠している(行事時には職員を動員し夜間の参加に取り組んでいる) ・季節、時間帯を考慮し開放時間を延長していく

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで いきたい 項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	<ul style="list-style-type: none"> ・入室する時、タンスを開ける時等許可を得ている ・自室からベランダに出られる時、段差で転倒されないよう自室での行動の見守りを行っている（ドアが閉まって入る時は特に物音など注意し声掛けを行っている） ・ロビー内での所在、動きを常時把握できるよう職員間で連携をとっている 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き安全で快適に過ごして頂ける様配慮していく
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	<ul style="list-style-type: none"> ・薬品や洗剤類は目に付かないように保管、管理している。使用時は見守り支援をしている ・はさみ、包丁は個々人の状態と必要に応じ見守りながら共同作業している 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き取り組んでいく
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアプラン作成時、サービス担当者会議時に検討し、全職員に掲示し取り組みの徹底を図っている ・事業所内外の研修、勉強会、又、広報誌、書籍等からも情報収集し事故防止に取り組んでいる 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・転倒事故が皆無にならない。さらに個々人の既往歴、今日の状態等を把握し危機管理に努め、事故防止を強化していく
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内外の研修、勉強会で受けているが、全職員が自信を持って対応できるには至っていない ・急変や事故発生時には併設病院に即一報を入れ指示を仰いでいる。状況により受診か往診かが即可能 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・新人職員は元より、全職員の資質の向上を図るため、研修や訓練の機会を増やしていく ・消防署等の各機関からの受講も行っていく
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回、消防署の協力を得て避難訓練を行っている。その時には近隣の人々にはお知らせしてご協力をお願いしている（実際の参加はないが） 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き働きかけていく ・運営推進会議の中でも、ご協力を依頼していく
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	<ul style="list-style-type: none"> ・入居時に暫定的な話し合いをし、その後は面会時、介護保険の更新時等機会を見つけて話し合いをして、ご家族のご理解の元「今」を大切にしたい対応策を検討し、支援している 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き連携を図っていく ・交流の少ないご家族との連携方法を検討し、相互理解を深め、ご入居様の生活を支援していく

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで いきたい 項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	・医療連携あり、定期的に訪問しバイタルチェック等している ・体調変化時には併設病院との連携が出来るので昼夜を問わず対応が出来る	○ ・引き続き体調変化の早期発見に努める ・表情、言動の変化等を見逃さない 職員の「気づき」の向上を図っていく
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	・内服薬管理表を作成し、周知に努めているが全職員が把握しているとは言えない ・内服薬が変わったり、臨時薬が処方された時には厳重に申し送りをし、症状の変化等明記し異変の早期発見に努めている	○ ・勉強会だけでなく開示方法等も検討し周知徹底を図っていく ・職員の資質の差を縮め、底上げを図っていく
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	・理解し、排便チェックをしている ・毎日の食材の選択、調理法も工夫している ・散歩をはじめ、レクリエーション的に楽しみながら体を動かしていただける取り組みをしている ・主治医に上申し支援方法の指示を受けている	○ ・引き続き取り組んでいく
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	・自立、声掛け、全介助等個々人に合わせ支援している ・提携の歯科医を講師に招いて勉強会を行った（入居者様方も一緒に行なった）	○ ・引き続き支援していく
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	・栄養計画書を作成し、併設施設の管理栄養士の指導も受けている ・「鯖」が苦手な方には「鮭」というように他者との差があまりでないようにしながら好みの物を提供している。高カロリージュースの提供や減量対策時は盛り付けの工夫等で満足して頂ける様支援している	○ ・バランスシート等も利用し、食材の選び方、調理法、献立の作成等さらに習得し、個々人のご満足に向け引き続き支援していく
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	・法人内の感染予防マニュアルあり（その中に事業所独自の予防対策方法も挿入してある）実行している ・ご家族の理解を得てインフルエンザの予防接種を受けて頂いている	○ ・予防が第一と心得、常日頃からの対応を心掛けて実践していく

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで いきたい 項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・食中毒予防のマニュアルを台所に掲示。手洗いの励行等啓発に取り組んでいる ・生鮮食品の纏め買いは極力避け、ほぼ毎日購入し長期保存しないようにしている ・食器は乾燥機使用（包丁等器機に入る物全て）、まな板等はハイター消毒や熱湯消毒をしている 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・これで万全ということはないので、引き続き十分に取組んでいく
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・道路に面したビルの側面に看板あり ・1階が駐車場なので入口が分かりづらい（イラストの案内はあるが）。鉢物を置きソフト感を出せる様努めている。各階も同様にし、季節毎に飾りつけを工夫している。 ・玄関には靴の着脱用の椅子を設置している 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・まだまだ工夫の余地があるので、さらに工夫、検討していく
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・壁画での工夫（稚拙にならないよう、華美にならないよう）や散歩途中での草花の生け花等あり ・季節によりエアコンや2重のカーテンでまぶしさや暑さを調節している。又個々人の体感や風の流れが違うため、温度設定や風向き等配慮している ・テレビの音量は入居者様に確かめながら調節している 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・さらにきめ細かい配慮をしながら工夫を凝らし支援していく
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・ソファが2脚あり利用されている。それぞれ向きが違うのでお一人での使用もあり 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・職員自身も共同空間の環境と自覚し、それぞれの思いに添える様努力し支援をしていく
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・入居時に説明しご協力を頂いている。三面鏡、仏壇等の持ち込みもあり ・季節毎の衣類の入れ替え時、面会時にもアルバムや書籍等のご持参をお願いしている ・暦等はお好きな物を選んで頂いている 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・要望の少ない入居者様もあり全ての方々のご満足は得られていない。さらにご家族のご協力を得ながら工夫していく

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで いきたい 項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84	<p>○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・台所、ロビー、トイレ、浴室には換気扇あり、適宜使用している ・居室には換気扇がないが、掃除時、不在時に窓の開放をしている。寝具類の保清にも努めている ・温度調節は入居者様に伺いながら温度設定をしている 	<p>○</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き継続していく。特に梅雨時の布団類の衛生管理を徹底していく

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで いきたい 項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者様やご家族のご意見を伺い、併設施設の作業療法士の意見を加味し、個々人の動線を推測して必要と思われる個所に手すりを設置 ・トイレの場所は特に分かりやすくしている 	○ ・引き続き個々人の表札等、新たな工夫をし自立支援をしていく
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	<ul style="list-style-type: none"> ・入居時の聴き取りはもちろん、以後1ヶ月は特に「その人なり」の把握に努めている ・徐々に出来る事、出来る範囲が拡大するように支援している ・無理強いせず、傾聴、受容、共感に努め、混乱の理由等を推測して、生き生きと暮らしていただける環境づくりを工夫している 	○ ・すべての方々に、いつでも満足して頂いているとは言えないが、全職員の持てる力で創意工夫し続けていく
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	<ul style="list-style-type: none"> ・鉢物やプランターでの野菜作りで、散水や収穫を楽しんで頂いている。 ・ひさしのないベランダの活用がなされていない（夏場の日照り、雨等で出づらい） ・建物の周りの花壇や菜園を（ご近所所有の）散歩途中に「咲いた」「実がある」等々と楽しんでいる 	○ ・居室の空間がまだ活かされていない。個々人のお好みやご家族の協力をお願いしながら、その人らしい部屋作りを支援していく



部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目

項 目		回答
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	① ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	① ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	① ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	① ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	② ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	① ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない

項 目		回答
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	① ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	① ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	③ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	② ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働いている	① ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	① ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	① ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ・「ゆっくり やさしく おだやかに」の理念に添って「共に 楽しく 健やかに」毎日を過ごして頂けるよう努めています。
- ・散歩コースに鹿児島中央駅や木市の開かれる甲突河畔があります(歩いて5分)。四季の移り変わりを、草花からもカラフルなディスプレイからも感じて頂いています。
- ・24時間安心して暮らしていただけるよう協力病院(土橋病院)や介護老人保健施設(城西ナーシングホーム)の支援体制が確保されています。